

2019. 2.28 (木) 岩手日報 (2)

の力強く

ーと動画制作

グビーワールドカップ2019日本大会が開催される釜石市の釜石鵜住居復興スタジアムと大会準備に取り組む地域住民を取り上げた。

本県の復興状況を発信するため3月8

(久慈ー盛岡、163キ)

14日は、東京都の東京スカイツリーで、復旧復興のパネル・ポスター展や動画上映なども行う。

ポスターと動画は、県特設サイト「いわてとあなた」が、つながるペー

ジ」のほか、動画投稿サ

ポスターのみは2種類で、昨年12月に新校舎が完成した陸前高田

市立気仙小学校のイト「YouTube」の県公式動画チャンネル5年生のほか、ラ

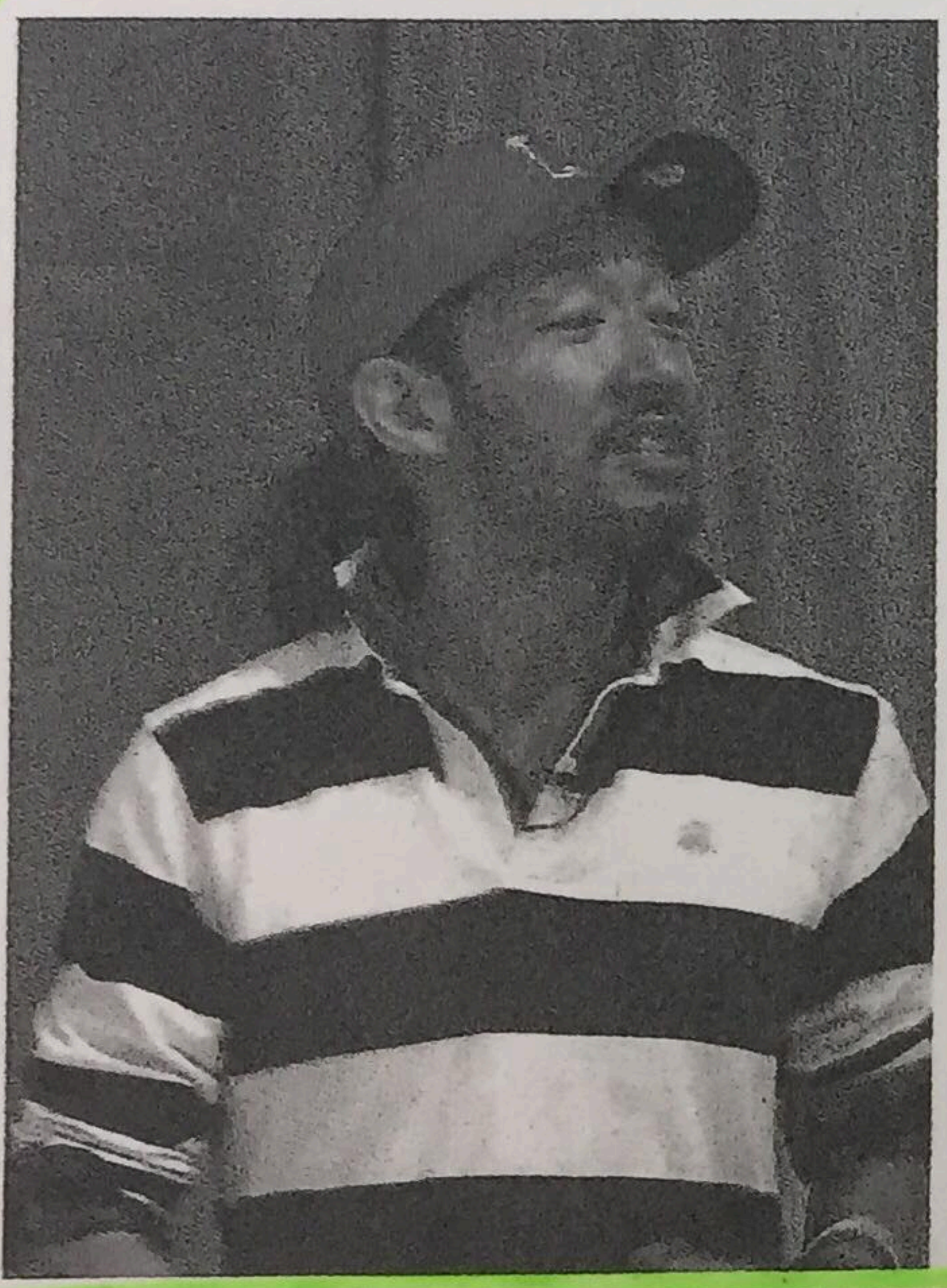
「ようこそ感」でもてなし

インバウンド村尾氏(大使)が講義

花巻市主催の明日から

できるインバウンド対策セミナー(花巻商工会議所共催)は26日、同市大通りのなはんプラザで開かれた。希望郷いわて観光文化大使の村尾隆介氏(東京都)がインバウンド(訪日外国人旅行者)に配慮した接客や、9月に開催されるラグビーワールドカップ(W杯)日本大会で「オール岩手」で旅行客をもてなす方法

を



村尾氏はラグビーW杯で本県を訪れる外国人向けにイラストで表現した

「おもてなし」の意味については「英語で表すのは難しいが、マナー(礼儀)でもホスピタリティ(接客)でもなく、エンターテインメント(楽しませる)だ」と持論を述べた。

ユニークなアイコン「いわての10手 ユニークアイコン」を考案し、県ホームページに公開しフリー素材として提供している。

セミナーには120人が参加。「スクラム組んで岩手ファンを世界につくろう」と題して講演した村尾氏は、ディズニランドでのアルバイト経験から「質の高い接客がディズニランドにあり、たくさん学ぶものがある。観光で最も大切なのは、どこかのタクシーやホテルが優れたサービスをしているのかではなく、『オール』で取り組むという発想だ」と強調した。

英語を話すことが苦手でもブローコンイングリッシュで話すことや筆談できる道具を用意すること、タブレット端末などで対応できることを指摘。「外国人をいつでも歓迎しているという『ようこそ感』を出すことが大事だ」とも語った。

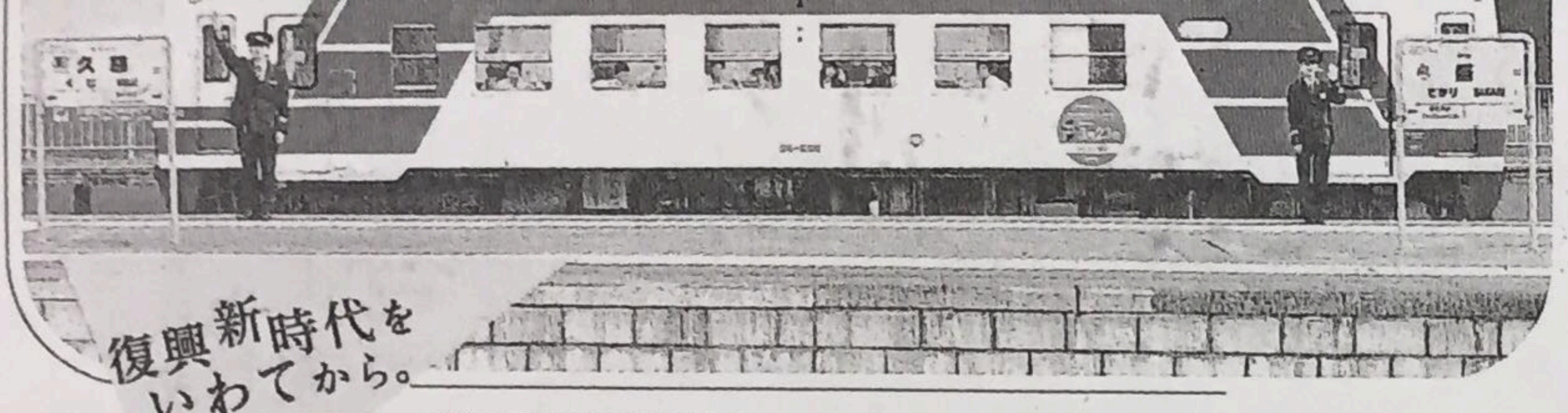
ラグビーW杯まで残り6カ月余りと迫っていることで「世界の人たちが日本開催を楽しみにしている。岩手はまたとない機会なのでエンターテインメント感を出して外国人をもてなしてほしい」と呼び掛けた。

春の森を見る

来月24日 岩大公開講座

2018年度岩手大公開講座フィールドセミナー「春をむかえる森をみる」は、3月24日に滝沢市の同大農学附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター滝沢演習林で開かれる。元森林総合研究所東北支所長の浅沼晟吾氏を講師に、冬を越した森の生き物を観察する。参加無料。申込期限は8日。

時間は午前9時30分～正午。問い合わせは同大地域連携・COC推進課019(621)6492まで。



復興新時代を
いわてから。

東日本大震災直後に復興し地域を支えてきた三陸鉄道。JR山田線の宮古ー釜石間は復旧が遅れ、北と南のレールは分離されたままですが、JR東日本から経営移管される宮古ー釜石間が復旧し、2019年3月23日から宮古ー久慈間が一つのレールでつながります。その距離は163キロ。第三セクターとして日本一長い鉄道です。新しい路線名は、ふるさと岩手から名付けた「リアス線」。岩手地域の心をつなぐ。三陸の未来に向けて走り続けています。

いわての復興に出来るポスターなど、WEBにて公開中! www.iwatekara.jp

岩手県

岩手の姿は「活気と未来への希望に溢れた岩手」

【絵画コンクール】
◇小学校の部▽優秀賞

インバウンド対策セミナーで外国人旅行者のもてなし方を語る村尾氏